

カリキュラム概要書

No. 講座名(開講月)		No.10519	介護初任者		(3月開講)	定員 (最少開講人数)	20人(4人)
実施施設		I S Pアカデミー 若葉駅前校					
パソコンレベル (事務系・IT系及びパソコンを使用する場合は記入)		対象者		健康で介護に興味があり学ぶ意欲のある方。 訓練修了後、取得した資格を活かし職に就ける方。			
修了で得られる資格等		介護職員初任者研修課程修了証明書 同行援護従事者養成研修課程修了証明書					
受講で目指せる資格等		介護福祉士実務者研修、福祉用具専門相談員、介護支援専門員、介護福祉士(ただし修了後実務経験3年要)					
目指せる就職先・職務等		病院、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、訪問介護事業所、障害者施設等 介護職員					
区分	科目	教科		内 容		時限数	DXリテラシーを含む場合は○
学 科	法定講義	職務の理解	多様なサービスの理解、介護職の仕事内容や働く現場の理解			6	
		介護における尊厳の保持・自立支援	人権の尊厳を支える介護、自立に向けた介護			9	
		介護の基本	介護職の役割、専門性と他職種との連携、介護職の職業倫理、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護職の安全			6	
		介護・福祉サービスの理解と医療の連携	介護保険制度、障害者総合支援制度及びその他制度、医療との連携とリハビリテーション			9	○
		介護におけるコミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション、介護におけるチームコミュニケーション			6	
		老化の理解	老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴、高齢者と健康			6	
		認知症の理解	認知症を取り巻く環境、医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理、認知症に伴う心とからだの変化と日常生活、家族への支援			6	
		障害の理解	障害の基礎的理解、障害の医学的側面、生活障害などの基礎知識、家族の心理、かかり支援の理解			3	
		基本知識の学習	介護の基本的な考え方、介護に関するところのしくみの基礎的理解、介護に関するからだのしくみの基礎的理解			12	
		生活支援技術の講義	生活と家事、快適な居住環境と介護 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護、移動・移乗・食事・入浴・清潔保持・排泄・睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護、死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護			18	
		振り返り	介護についての要点 研修を通して学んだこと、継続的に学ぶこと			4	
		修了評価	筆記試験 (介護職員初任者研修事業実施要項に基づく全科目筆記試験)			1	
		同行援護従事者養成研修一般課程	外出保障、視覚障害の理解と疾病、視覚障害者(児)の心理、視覚障害者(児)の福祉の制度とサービス、同行援護の制度、同行援護従事者の実際と職業倫理、情報提供、代筆・代読			12	
		同行援護従事者養成研修応用課程	サービス提供責任者の業務、様々な利用者への対応、個別支援計画と他機関との連携、業務上のリスクマネジメント、従業者研修の実施、同行援護の実務上の留意点			6	
		復習	復習			16	○
実 技	法定演習	生活支援技術演習	生活と家事、快適な居住環境と介護、ところとからだのしくみと自立に向けた介護 (整容、移動・移乗、食事、入浴、清潔保持、排泄、睡眠) 終末期介護			39	
	法定演習	総合生活支援技術演習	介護課程の基礎理解、総合生活支援技術演習			12	
		同行援護従事者養成研修一般課程	誘導の基本技術、誘導の応用技術(場面別・街歩き)、交通機関の利用			16	
		復習	復習	復習			11
就 職 支 援	就職支援	マナー接遇	マナー接遇			6	
		社会人講話、会社説明会等 キャリアコンサルティング	会社説明会、ジョブカード記入方法、求人情報収集方法、就職先選定・就職活動の助言、就職先企業の選定、面接対策、履歴書・職務経歴書の作成、キャリアコンサルティング			12	○
職 場 見 学 等	見学等 実習	職場見学					
		職場体験					
		職場実習					
入校式・オリエンテーション			入校式・オリエンテーション			2	
ガイダンス・修了式			ガイダンス・修了式			2	
※「★」印は、オンラインでの受講も可能な教科等です。						【総時限数】	220